



11月19日、木次町のおろち湯ったり館の入場者が150万人を達成しました。150万人目の利用者となったのは、出雲市在住の田口文雄さん。記念セレモニーでは、田口さんとその前後に入場された5人にも無料入浴券などの記念品が贈られました。

湯ったり館は、平成9年12月にオープンし、気泡浴、寝湯などの木風呂・石風呂のほか、温泉プール、屋上露天風呂などが好評を得ており、現在1日平均で約500名の利用があります。

冬はあったか温泉で

一方、掛合町の波多温泉「満寿の湯」でも入浴者数が10万人を数え、12月3日に、江田幹雄さん（松江市島根町）に記念品が贈られました。

波多温泉は、掛合町ふるさと創生事業「好老の郷づくり」計画により、平成9年に温泉スタンド開設、平成14年8月に「満寿の湯」をオープンしています。

満寿の湯は、「普段着の温泉」というキャッチフレーズで町内外の温泉ファンに親しまれ、柚子湯、バラ湯、シヨウブ湯など季節に合せた温泉を楽しめます。



おろち湯ったり館 開館時間 午前10時～午後9時（定休日 毎週水曜日12月は27日除く）
入湯料 大人500円、65才以上400円、小人250円 ☎0854-42-9181



波多温泉「満寿の湯」
開館時間 午前10時～午後8時（定休日 毎週水曜日）
入湯料 大人300円、小人150円 ☎0854-64-0800

また、運営は、指定管理によりコミュニティビジネスとして波多地区コミュニティ協議会が行っています。

人権の樹 (ハナミズキ) 記念植樹

12月の人権週間に先がけ、加茂小学校（11月9日）と塩田小学校（11月21日）で、児童らがハナミズキを植樹しました。

この記念植樹は、学校周辺や通学路沿いへ、花を飾るなどの「人権の花活動」の3年間達成記念にあわせ、雲南人権擁護委員協議会が主催したものです。

校庭に植えられたハナミズキが子どもたちの思いやりの心とともに大きく成長していくことを願います。



加茂小学校の記念植樹



塩田小学校の記念植樹

海潮・小河内自治会で 地域安全・防災教室

小河内自治会（新田幸雄会長・42戸）では、地域の安全と安心生活に役立てようと、地域安全推進員と自治会防火クラブとの共催で地域安全・防災教室を開催しました。

当日は57名の皆さんが参加し、始めに海潮駐在所の斎藤巡査部長から、近年多発する「振り込め詐欺」や「車上狙い」、また「雨時のスリップ事故」についての講義を受講。その後、日本赤十字社講師から、災害時の炊き出し訓練と救急法の指導を受けました。

特に炊き出し訓練では、災害時には飲料水も不足することから、少ない水でお米を炊く方法や炊き出し米の保存方法などについて学びました。

11月19日 (大東町)



歳末チャリティーショー

内各地で歳末チャリティーショーが開催されました。このうち吉田町では、「あったかハート集まれ!!06 吉田町歳末チャリティーショー（11月25日・吉田町生涯学習交流館）」が盛大に開催されました。

今年の参加団体は、町内外合せて12団体。歌にダンス、大正琴、寸劇など各団体趣向を凝らしたもので、子どもも大人も可愛らしい歌や踊りで和やかなひとときを過ごしました。

また、三刀屋町でも「みとや町歳末チャリティー余芸大会（12月10日）」が、にぎやかに開催され、会場となったアスパルには大勢の人が訪れました。



吉田村商工会青年部の出店や抽選会もあり、会場を盛りあげました。



（株）吉田ふるさと村は、たまごかけご飯のテーマソング「クルクルたまごごはん」を昨年に引き続き披露



各種ステージのほか会場では、福祉バザーや炭の模擬店なども出展されたほか、豪華景品の当たる抽選会もありました。



Hello Everyone

国際交流員(CIR)の迷言コーナー

うん、なんでしょう

JICA青年招へい事業 アフガン青年との国際交流



11月16日から19日までの期間、アフガニスタン行政グループの皆さん14名が雲南市を訪れ、雲南消防署や尾原ダム建設地などの見学や市内各地でホームステイをしました。



ロジャーです。日本の文化を大学で習った時からずっと相撲に憧れていました。大変いい経験になりました。

徐々に寒さが本格的になり、今年も残り少なくなった気がします。写真を見てください！秋の間に色々な文化体験をしました。掛合町で相撲の初体験やどじょうすくい踊りなどです。今では相撲を面白く感じ、全部の試合を集中して見るようになりました。1月場所が楽しみです！

